

「平成27年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 28 年 6 月 10 日

仕 事 の 内 容	小・中学校運営事業					
担当部署・課長名	学校教育部学校教育	課	施設	係	課長名	中橋 健

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】 学校教育の充実

(総合計画書 31 ページ)

予算名	款	10 教育費	項	23 小学校費・中学校費	目	1 学区管理費	事業	1 小学校運営費・中学校運営費	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。						① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)		
	市内小中学校						→ 小学校10校・中学校5校		
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]						② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)		
適正に管理された学校施設						→ 適正に管理された学校施設の割合			
③ そのために何をしましたか。						③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)			
1 小中学校の施設修繕を行った。 2 小中学校の施設維持改修工事を行った。						施設修繕料 小学校50件 執行率99.9%(担当替含む) 中学校20件 執行率99.9%(担当替含む) → 施設維持改修工事 小学校 7件 執行率99.9%(担当替含む) 中学校 5件 執行率99.9%(担当替含む)			

2 指標の推移			単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度目標	平成29年度目標
	対象指標	①の数値	校	15	15	15	/	/
	成果指標	②の数値	校	15	15	15	/	/
	目 標	②の目標値		/	/	/	/	/
			目標値設定の考え方					
活動指標	③の数値	件	75	81	82	/	/	

3 経費	事業費		円	16,000,000	16,000,000	17,491,700	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,233,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成26年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	16,000,000	16,000,000	17,491,700	
		特定財源	円	0	0	0	
	(うち受益者負担)		円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	1.0	1.0	1.0	
		所要人数(再任用)	人	2.0	2.0	1.0	
		職員人件費(再任用以外)	円	8,298,000	8,298,000	8,233,000	
職員人件費(再任用)		円	5,844,000	5,844,000	2,999,000		
事業費+人件費		円	30,142,000	30,142,000	28,723,700		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	
	建設当初から施設の維持・修繕は始まっており、適正に維持管理することが建物寿命の延命化を図ることが可能となる。 また、児童・生徒の安全を確保するためにも維持・修繕が重要である。	
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。	
	毎年修繕対応を実施しているところであるが、合わせて施設の老朽化も進んでいるため、各学校から改修や修繕の要望が多くなっている。	

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成27年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	施設の老朽化が進んでいるため、学校施設の修繕・改修について多くの要望が各学校から寄せられている。	

仕 事 の 内 容	小・中学校運営事業					
担当部署・課長名	学校教育部学校教育	課	施設	係	課長名	中橋 健

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答可)		
	取組みは無い	取組手法 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換 ⑦後援・場の提供 ⑧その他()	
	(2)平成28年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。		
7 課 題	この仕事を振り返り、課題を記入してください。 各学校施設の老朽化が進んでいるため、修繕・改修の要望が増加傾向にある。 現状では施設に不備や故障が現れてからの事後対応での修繕・改修対応となっている。 限られた予算の中で緊急性や優先度を見極めながら効率的な修繕・改修を実施することが課題となっている。		
8 今 後 の 方 向 性	(1) 仕事の方向性(「7 課題」を踏まえた具体的な改革・改善案など)		
	早急かつ必要最小限度の方法を検討して工事や修繕を発注することが必要となる。また、営繕班で対応できる修繕についても内容を見極めながら効率的に対応できるように努める。		
	(2) 上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的に記入してください。 環境整備事業費予算の計上による、定期的で計画的な大規模改修工事の実施を検討する。		
	(3) 改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。		
成 果	成果を向上させる。	経 費	仕事の経費を増加させる。